

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和05年01月30日

計画の名称	鴻巣市における循環のみちの実現（防災・安全）（重点計画）（第3期）														
計画の期間	令和05年度 ～ 令和09年度（5年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	鴻巣市														
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。														
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		306	A	306	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R5当初）	（R7末）	（R9末）
1	下水道による浸水対策が必要な区域は、1／3確率と1／5確率降雨で計画整備されており、1／3確率降雨の内水浸水被害が防止できる割合（雨水管渠整備率）を17.1％（R5当初）から20.9％（R9末）に向上させる。			
	都市浸水対策のための雨水管渠整備率	29%	32%	33%
	整備完了済み面積（ha）／区域面積（286.8ha）			
2	ソフト対策の1つとなる「浸水想定情報（浸水深・浸水区域など）の住民等への公表・周知」による被害軽減対策を促進する。また、内水浸水想定区域図の必要性を明記したうえで、内水浸水想定区域図の作成方法に関する基本事項等の進捗率を0.0％（R5当初）から100.0％（R6末）に向上させる。			
	内水浸水想定区域図及び内水ハザードマップ作成進捗率	0%	100%	100%
	策定までの検討済み項目（項目）／策定までに検討すべき項目（6項目）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
区域面積＝西部第3排水区、元荒川上流第1・2排水区、鎌塚落排水区の面積																

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	鴻巣市	直接	鴻巣市	管渠（ 雨水）	新設	元荒川上流第 1 排水区雨 水整備事業（浸水対策）	管渠 L = 約872m	鴻巣市	■	■	■	■		230		-
	A07-002	下水道	一般	鴻巣市	直接	鴻巣市	管渠（ 雨水）	新設	元荒川上流第 2 排水区雨 水整備事業（浸水対策）	管渠 L=約104m	鴻巣市		■				22		-
	A07-003	下水道	一般	鴻巣市	直接	鴻巣市	-	-	内水浸水リスクマネジメ ント推進事業（浸水対策 ）	内水浸水想定区域図及び内水 ハザードマップ作成	鴻巣市	■	■				54		-
												小計						306	
											合計						306		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	15				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	15				
前年度からの繰越額 (d)	30				
支払済額 (e)	36				
翌年度繰越額 (f)	9				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					